（記入日　　年　　月　　日）

3. もしものときの医療・介護の希望

もしものときの医療の希望

もしものときに、あなたに病名や余命を告知しなければならないときや、延命処置等をするかどうかについて、判断をお願いするときがあります。そのとき周囲が困らないよう、記入し共有しましょう。主治医（かかりつけ医）がいる方は一緒に考えていくとよいでしょう。

告知について

□重大な病気の場合は教えてほしくない
□どんな病気でも教えてほしい
□その他（　　）

経口摂取（口から食べること）以外での栄養摂取

□点滴による栄養摂取(中心静脈栄養（カロリーの高い点滴栄養）)の処置を希望する
□経鼻経管栄養摂取（鼻からチューブを入れて栄養剤を入れる）の処置を希望する
□胃ろう（胃に直接栄養チューブを入れる）の処置を希望する
□できる限り自然に任せて欲しい
□判断をご家族や大切な人に任せたい

回復の見込みがなく、死期が迫った場合の延命処置について

※延命処置（気管切開、人工呼吸器、心臓マッサージなど）は、一度始めると途中でやめることは難しいため、よく考えて記入しましょう。

□どんな場合でも、延命処置はしないでほしい
□どんな場合でも、延命処置をしてほしい
□延命よりも苦痛を少なくすることを重視してほしい
□可能性があるなら、延命処置を望みたい（してほしい）
□その他（　　）

臓器提供や献体について

□臓器提供の手続きは済んでいる（意思表示カードの保管場所:　　）
□献体の手続きは済んでいる（献体についての登録団体:　　）
□臓器提供や献体を希望する ※登録をしないと手続きはできません
□臓器提供や献体はしたくない

▶その他の希望

（記入日　　年　　月　　日）

介護の希望

もし、あなたが認知症やその他の病気、ケガ等によって、判断能力がなくなったりコミュニケーション能力が低下したりしたときのために、自分の考えや希望を記入しておきましょう。

どんな介護を望みますか

□自宅で家族にお願いしたい
□自宅でヘルパー等のサービスを利用しながら、家族と過ごしたい
□特別養護老人ホーム・認知症対応型グループホーム・有料老人ホーム等の高齢者施設に入りたい
□その他（　　）

▶介護をしてくれる人に伝えたいこと

あなたの考えを記入しておきましょう。

もしものときの医療・介護の希望について、あなたの思いを託せる人はだれでしょうか。

あなたが病状などにより、自分の考えや気持ちを伝えられなくなったときや、あなたが治療などについて決められなくなったときに、あなたの代わりに治療やケアについて話し合ってもらう信頼できる家族や友人の方を書いておきましょう。

優先順位	名　前	間　柄	連絡先
1			
2			
3			

人生の終わりまで、あなたは、どのように、過ごしたいですか ？

もしものときのために

「人生会議」

～自らが望む、人生の最終段階の医療･ケアについて話し合ってみませんか～

11月30日（いい看取り・看取られ）は人生会議の日

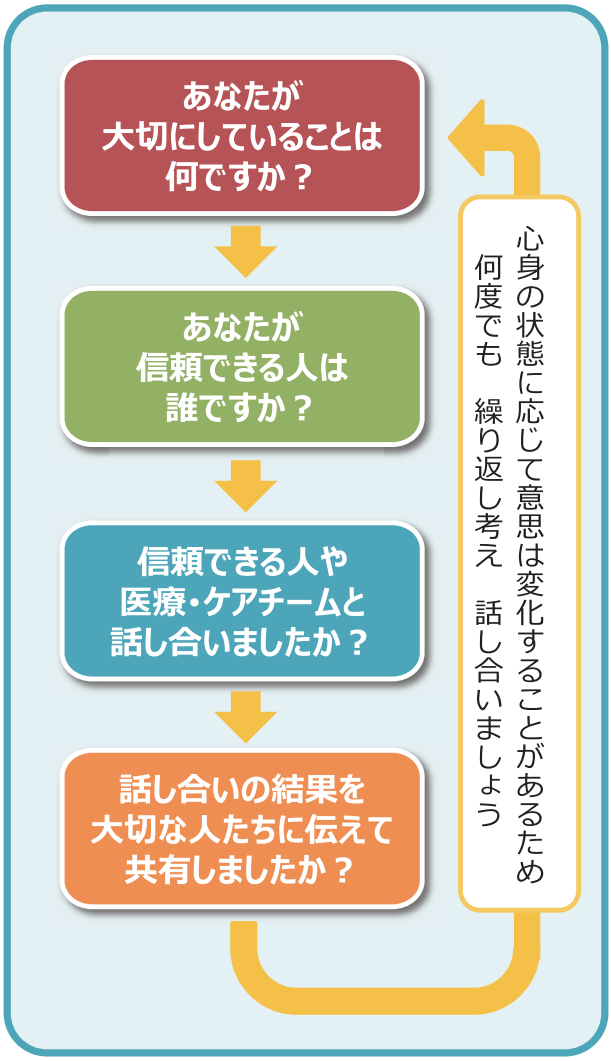
誰でも、いつでも、
命に関わる大きな病気やケガをする
可能性があります。

命の危険が迫った状態になると、
約７０％の方が、
医療やケアなどを自分で決めたり
望みを人に伝えたりすることが、
できなくなると言われています。

自らが希望する医療やケアを受けるために
大切にしていることや望んでいること、
どこでどのような医療やケアを望むかを
自分自身で前もって考え、
周囲の信頼する人たちと話し合い、
共有することが重要です。



話し合いの進めかた（例）



もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組を「 人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」と呼びます。
あなたの心身の状態に応じて、かかりつけ医等からあなたや家族等へ適切な情報の提供と説明がなされることが重要です。

このような取組は、個人の主体的な行いによって考え、進めるものです。知りたくない、考えたくない方への十分な配慮が必要です。

詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html